

学会便り 第125回秋期大会報告

第15回「女性会員の会」報告

Meeting report on the 15th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

鳥居 麗子*

Reiko TORII*

横浜国立大学の第125回秋期大会期間中、第15回女性会員の会を開催しました。出席者は23名（企業14、大学教員5、学生4、内男性会員3名）で、今回も大勢の方にご参加頂きました。

恒例の自己紹介は①氏名、②所属、研究内容、③「1年前と変わったこと、もしくは大きな選択」で進めました。業界では10月に合併・社名変更があり、業務内容等働く環境に変化があった方、博士後期課程への進学を決めた方のほか、この1年間に結婚された方が5人も！結婚された方々は、同じ職場で切磋琢磨していること、如何に効率よく仕事をするか考えるようになったなど、公私にわたり大きな変化があったとの報告がありました。参加者の半数以上が既婚者で、結婚あるいは家庭環境の変化で転職を経ても研究を続けているとの貴重な経験談がありました。さらに、遠距離恋愛の末結婚された方は、ご主人が仕事を辞め現在主夫として育児・家事全般を担われ、ご本人が仕事を引き受けているそうです。それらの経験談を聞き、将来に不安を抱える学生や企業の若手研究者達からは、とても勇気づけられたとの感想が寄せられています。

今回の話題提供は、第5回軽金属女性未来賞を受賞された株式会社TYKの大島智子さんにお願しました。地元岐阜県瑞浪市にある世界一大きい犬犬のお話に始まり、溶融アルミニウム用水素センサプローブにまつわる研究の話から、日本画鑑賞や和装着付け等趣味にまで広がりました。社会人博士号取得のエピソードでは、学部卒業ながら就職後の実績が評価され飛び級で博士後期課程に進学したこと、予想以上に厳しい研究生生活を送りながら、本当に博士号を取る意味があるのか不安と葛藤に苦しんでいたとき、たまたま女性会員の会に参加し勇気づけられて、また頑張ろうと気持ちを切り替えることができたことなどが紹介されました。

この会のようにロールモデルとなる先輩研究者に直接お話を聞くことができ、相互に刺激を受けることのできる場は大変貴重だと感じています。今後も女性研究者の皆さんが生き生きと活躍されるよう、この会が公私にわたる一助になればと考えております。引続き、女子学生、女性会員、本会に関心のある男性会員、応援委員の皆さんの積極的なご参加をお待ち致します。また本会へのご意見・要望などありましたら下記専用アドレスにお寄せ下さい。

最後にこの場を借りて、横浜国立大学福富洋志先生、廣澤渉先生、岡安和人先生始め大会実行委員のご配慮に深く感



謝いたします。ご準備いただいた崎陽軒の横濱中華弁当、“3種類の横浜のお菓子”と共に、記憶に残る有意義な会となりましたことをご報告致します。

学会託児室

今回は横浜駅近くの既設託児所で開設し、1名の利用がありました。利用者から『学会に参加しやすくなりました。とても助かります』と感想が届きました。今後ますます学会託児室の利用が増えていくと思いますので、大会参加者に気軽に利用いただけるよう託児室の設置と周知を継続して行っていきます。

※今回の写真閲覧を希望される参加者は、閲覧方法をお知らせしますので、タイトルに「女性会員の会写真希望」と記載の上、女性会員の会メールアドレスまでご連絡ください。

女性会員の会専用メールアドレス：keikin.jyosei@gmail.com

世話人：関 史江、小原美良、齊藤由佳、鳥居麗子

*女性会員の会世話人、軽金属学会託児室担当者、元三菱アルミニウム株式会社
受付日：平成25年11月20日